

(1) 学校の概要、目標及び計画

① 教育目的

本校は、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 82 条の 2 及び第 82 条の 3 の規程に基づき、高等学校教育の基礎の上に、文化・教養分野及び衛生分野の知識と技能を授ける専門課程を設置し、人格の陶冶を図り、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

② 目標及び計画

1) 教育内容の充実

企業との連携を図り体験的、実践的な学習の展開

専門力とともに人間力を高める教育の充実

思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める教育の充実

2) 学生・保護者の満足度向上

学生・保護者・学校の情報共有と連携

三者面談の有効活用

多面的本校理解の推進

3) 高い就職率

在り方生き方の就職指導の充実

就職実務の指導内容の充実と方法の改善

就職につながる企業実習等の重視

4) 高い検定取得率

取得検定の精選と高度化

就職指導に関連づけた検定対策

検定関係授業の充実と指導方法の改善

5) 安定した入学者数の確保

魅力ある教育内容の充実と学校づくり

入学関係者のニーズに即した広報活動と対応

6) 退学者の防止

学習、生活、就職活動等におけるきめ細かい学校支援

あらゆる教育場面を通しての、学生理解と速やかな対応

③ 校長名、所在地、連絡先等

校長名 岡田 徹

所在地 栃木県宇都宮市二荒町 6 番 6 号

連絡先 TEL028-614-2337

④ 学院、学校の沿革、歴史

1985 年 学校法人 TBC 学院設立

宇都宮市に「国際情報ビジネス専門学校（専門課程）」を開校

1989 年 「国際情報ビジネス専門学校（高等課程）」を開校

1990 年 大田原市に「大田原情報ビジネス専門学校（専門課程）」を開校

1991 年 小山市に「国際テクニカルデザイン専門学校（専門課程）」を開校

- 1992年 小山市に「国際テクニカル調理師専修学校（高等課程）」を開校
- 1995年 「大田原情報ビジネス専門学校」から「専門学校国際スクールオブビジネス」に校名変更
- 1996年 「国際情報ビジネス専門学校（高等課程）」の今泉校舎完成  
「国際テクニカル調理師専修学校」から「国際テクニカル調理師専門学校」に校名を変更し、調理分野の専門課程を設置  
「専門学校国際スクールオブビジネス（高等課程）」を開校
- 1999年 宇都宮市に「国際介護福祉専門学校（専門課程）」を開校  
「国際情報ビジネス専門学校」に「メイク&スタイリスト学科」を開設
- 2005年 宇都宮市に「国際ファッションビューティ専門学校（専門課程）」を開校  
宇都宮市に「国際ペット総合専門学校（専門課程）」を開校
- 2006年 宇都宮市に「国際ティビィシィ看護専門学校（専門課程）」を開校  
小山市に「国際テクニカル美容専門学校（専門課程）」を開校
- 2007年 「専門学校国際スクールオブビジネス」から「国際自動車・ビューティ専門学校」に校名変更
- 2008年 「国際テクニカルデザイン専門学校」から「国際テクニカルデザイン・自動車専門学校」に校名変更
- 2012年 宇都宮市に「国際テクニカル調理師専門学校宇都宮校」を開校  
宇都宮市に「国際テクニカル理容美容専門学校」を開校  
「国際情報ビジネス専門学校（高等課程）」から「国際TBC高等専修学校」に校名を変更

(2) 各学科等の教育

●入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

受入れ方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物を愛し、働くために深い知識や技術を身に付けたい人</li> <li>・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人</li> <li>・何事にも積極的に挑戦できる意思と意欲のある人</li> </ul>			
	トリマー学科	飼育・しつけ学科	動物看護師学科	ペット スペシャリスト学科
入学者数	21名	22名	11名	10名
収容定員	50名	60名	40名	40名
在学学生数	44名	46名	20名	27名

●進級・卒業要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

- 1) 通年の成績評価が全て C 以上であること。
- 2) 各コースにより指定された認定試験に合格すること。（該当する場合のみ受験）
- 3) 各コースにより指定された基準検定を取得すること。
- 4) 90%以上の出席率であること。
- 5) 各科目それぞれ 70%以上の出課率及び 80%以上の総出課率であること。
- 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること

●取得を目指す資格・検定等、及び実績

【トリマー学科】

資格・検定名称	基準検定	2015年度合格者数
JKCトリマーライセンスC級	○	11
日本動物専門学校協会主催 トリマーライセンス1級		11
愛玩動物飼養管理士2級	○	10

【飼育・しつけ学科】

資格・検定名称	基準検定	2015年度合格者数
日本動物専門学校協会 ドッグトレーナー1級	○	15
ペット技能検定協会 トリマー検定2級		13
全国ペット協会 家庭動物管理士3級	○	15

【動物看護師学科】

資格・検定名称	基準検定	2015年度合格者数
動物看護師統一認定試験	○	13
ペット技能検定協会 トリマー検定2級	○	16
愛玩動物飼養管理士2級	○	16

【ペットスペシャリスト学科】

資格・検定名称	基準検定	2015年度合格者数
動物看護師統一認定試験	○	10
JKCトリマーライセンスC級	○	11
日本動物専門学校協会主催 トリマーライセンス1級		10
愛玩動物飼養管理士2級	○	11

●卒業生数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先）

トリマー学科

	人数	内訳
卒業生数	11	
進学者数	0	
就職者数	11	株式会社ノア、ミヤペット、ペットランドミッキー等 ペット業界に主にトリマーとして就職

飼育・しつけ学科

	人数	内訳
卒業生数	18	
進学者数	0	
就職者数	15	株式会社ジョイフル本田、蔵の街動物医療センター、 ドッグハウス・ヒメ 等 ペットショップや動物病院、ブリーダー等、ペット業 界に就職。

動物看護師学科

	人 数	内 訳
卒業者数	16	
進学者数	0	
就職者数	12	栃木街道どうぶつ病院、フレンズ病院、那須野が原アニマルクリニック 等 動物病院に動物看護師として就職。

ペットスペシャリスト学科

	人 数	内 訳
卒業者数	11	
進学者数	0	
就職者数	11	ドッグサロン・M スタイル、ドッグギャラリーロイヤル、奈良部動物病院 等 ペットサロンや動物病院にトリマー、動物看護師として就職。

トリマー学科

平成28年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考
				第1学年	第2学年	計	
				時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程	一般教育科目	パソコン実習Ⅰ	必須	38		38	
		パソコン実習Ⅱ	〃		38	38	
		就職実務Ⅰ	〃	38		38	
		就職実務Ⅱ	〃		38	38	
	専門教育科目	グルーミング実習Ⅰ	必須	684		684	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		684	684	
		グルーミング理論Ⅰ	〃	38		38	
		グルーミング理論Ⅱ	〃		38	38	
		犬学Ⅰ	〃	76		76	
		犬学Ⅱ	〃		76	76	
		動物看護学Ⅰ	〃	38		38	
		動物看護学Ⅱ	〃		38	38	
		栄養学	〃	38		38	
		しつけ概論	〃	76		76	
		ペットショップ学	〃	38		38	
		ホリスティックケア	〃		76	76	
		ハンドリング	〃		114	114	
		企業実習	〃		35	35	
計				1,064	1,137	2,201	

トリマー学科

平成27年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考
				第1学年	第2学年	計	
				時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程	一般教育科目	就職実務Ⅰ	必須	38		38	
		就職実務Ⅱ	〃		38	38	
	専門教育科目	グルーミング実習Ⅰ	必須	684		684	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		684	684	
		グルーミング理論Ⅰ	〃	38		38	
		グルーミング理論Ⅱ	〃		38	38	
		犬学Ⅰ	〃	76		76	
		犬学Ⅱ	〃		76	76	
		動物看護学Ⅰ	〃	38		38	
		動物看護学Ⅱ	〃		38	38	
		栄養学	〃	38		38	
		しつけ概論	〃	76		76	
		ホリスティックケア	〃		76	76	
		ハンドリング	〃		114	114	
		ペットショップ学	〃	38		38	
		企業実習Ⅰ	〃	35		35	
		企業実習Ⅱ	〃		35	35	
		計				1,061	1,099

飼育・しつけ学科

平成28年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考
				第1学年	第2学年	計	
				時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程 飼育・しつけ学科	一般教育科目	就職実務	必須		38	38	
		パソコン実習	〃		38	38	
	専門教育科目	ドッグトレーニング実習Ⅰ	必須	456		456	
		ドッグトレーニング実習Ⅱ	〃		456	456	
		校外飼育実習	〃	228		228	
		展示動物飼育学Ⅰ	〃	76		76	
		展示動物飼育学Ⅱ	〃		76	76	
		動物看護学Ⅰ	〃	38		38	
		動物看護学Ⅱ	〃		38	38	
		動物栄養学	〃		38	38	
		犬学	〃	38		38	
		品種学	〃		38	38	
		しつけ概論Ⅰ	〃	38		38	
		しつけ概論Ⅱ	〃		38	38	
		企業実習	〃		60	60	
		グルーミング実習Ⅰ	〃	228		228	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		228	228	
		ホリスティックケア	〃		76	76	
		ペットショップ学	〃	38		38	
		計				1,140	1,124



飼育・しつけ学科

平成27年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考	
				第1学年	第2学年	計		
				時間数	時間数	時間数		
文化・教養専門課程	飼育・しつけ学科	一般教育科目	就職実務	必須		38	38	
		専門教育科目	ドッグトレーニング実習Ⅰ	必須	456		456	
			ドッグトレーニング実習Ⅱ	〃		456	456	
			校外飼育実習	〃	228		228	
			展示動物飼育学Ⅰ	〃	76		76	
			展示動物飼育学Ⅱ	〃		76	76	
			動物看護学Ⅰ	〃	38		38	
			動物看護学Ⅱ	〃		38	38	
			動物栄養学	〃		38	38	
			犬学	〃	38		38	
			品種学	〃		38	38	
			しつけ概論Ⅰ	〃	38		38	
			しつけ概論Ⅱ	〃		38	38	
			グルーミング実習Ⅰ	〃	228		228	
			グルーミング実習Ⅱ	〃		228	228	
			ホリスティックケア	〃		76	76	
			企業実習	〃		120	120	
			動物行動学	〃	38		38	
			ペットショップ学	〃	38		38	
計					1,178	1,146	2,324	

動物看護師学科

平成28年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考
				第1学年	第2学年	計	
				時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程	一般教育科目	就職実務Ⅰ	必須	38		38	
		就職実務Ⅱ	〃		38	38	
		パソコン実習Ⅰ	〃	38		38	
		パソコン実習Ⅱ	〃		38	38	
	専門教育科目	動物形態機能学	必須	76	76	152	
		動物病理学	〃		38	38	
		動物疾病看護学	〃	76	76	152	
		動物薬理学	〃	38		38	
		動物感染症学	〃	38	22	60	
		病原体・衛生管理	〃	30		30	
		動物健康管理	〃	16		16	
		動物栄養学	〃	38	38	76	
		動物医療関連法規	〃	30		30	
		公衆衛生学	〃	30		30	
		動物繁殖学	〃	16		16	
		動物人間関係学	〃		38	38	
		動物行動学	〃	38	38	76	
		動物福祉論	〃		30	30	
		飼養管理学	〃	38	38	76	
		動物看護学	〃	16		16	
		臨床動物看護学	〃	104		104	
		動物入院管理	〃		38	38	
		幼齢動物・老齢動物管理	〃		38	38	
		動物臨床検査学	〃	30		30	
		救命救急対応	〃		16	16	
		クライアントエデュケーション	〃	30		30	
		院内コミュニケーション	〃	76		76	
		動物飼育実習Ⅰ	〃	45		45	
		動物飼育実習Ⅱ	〃	104		104	
		動物看護実習Ⅰ	〃	90		90	
		動物看護実習Ⅱ	〃	76	76	152	
		動物臨床検査学実習Ⅰ	〃	90		90	
動物臨床検査学実習Ⅱ	〃		135	135			
外科動物看護実習Ⅰ	〃	45		45			

		外科動物看護実習Ⅱ	〃		45	45	
		総合臨床実習Ⅰ	〃	65		65	
		総合臨床実習Ⅱ	〃		70	70	
		グルーミング実習	〃		228	228	
		品種学	〃	38		38	
		ホリスティックケア	〃		76	76	
		試験対策	〃		38	38	
計				1,349	1,230	2,579	

動物看護師学科

平成27年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数			備考
				第1学年	第2学年	計	
				時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程	一般教育科目	就職実務Ⅰ	必須	38		38	
		就職実務Ⅱ	〃		38	38	
		パソコン実習Ⅰ	〃	38		38	
		パソコン実習Ⅱ	〃		38	38	
	専門教育科目	動物形態機能学	必須	76	76	152	
		動物病理学	〃		38	38	
		動物疾病看護学	〃	76	76	152	
		動物薬理学	〃	38		38	
		動物感染症学	〃	38	22	60	
		病原体・衛生管理	〃	30		30	
		動物健康管理	〃		16	16	
		動物栄養学	〃	38	38	76	
		動物医療関連法規	〃	30		30	
		公衆衛生学	〃	30		30	
		動物繁殖学	〃		16	16	
		動物人間関係学	〃		38	38	
		動物行動学	〃	38	22	60	
		動物福祉論	〃		30	30	
		飼養管理学	〃	38	22	60	
		動物看護学	〃		16	16	
		臨床動物看護学	〃	90		90	
		動物入院管理	〃		38	38	
		幼齢動物・老齢動物管理	〃		38	38	
		動物臨床検査学	〃	30		30	
		救命救急対応	〃		16	16	
		クライアントエデュケーション	〃	30		30	
		院内コミュニケーション	〃	38	38	76	
		動物飼育実習Ⅰ	〃	45		45	
		動物飼育実習Ⅱ	〃	90		90	
		動物看護実習Ⅰ	〃	90		90	
		動物看護実習Ⅱ	〃	76	76	152	
		動物臨床検査学実習Ⅰ	〃	90		90	
動物臨床検査学実習Ⅱ	〃		135	135			
外科動物看護実習Ⅰ	〃	45		45			

		外科動物看護実習Ⅱ	〃		45	45	
		総合臨床実習Ⅰ	〃	65		65	
		総合臨床実習Ⅱ	〃		70	70	
		グルーミング実習	〃		228	228	
		品種学	〃	38		38	
		ホリスティックケア	〃		76	76	
		試験対策	〃		38	38	
計				1, 235	1, 230	2, 519	

ペットスペシャリスト学科

平成28年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数				備考
				第1 学年	第2 学年	第3 学年	計	
				時間数	時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程 ペットスペシャリスト学科	一般教育科目	就職実務	必須		38	38	76	
		パソコン実習	〃			76	76	
	専門教育科目	動物形態機能学	必須	76	76		152	
		動物病理学	〃		38		38	
		動物疾病看護学	〃	76	76		152	
		動物薬理学	〃	38			38	
		動物感染症学	〃	38	22		60	
		病原体・衛生管理	〃	30			30	
		動物健康管理	〃			16	16	
		動物栄養学	〃	38	38		76	
		動物医療関連法規	〃	30			30	
		公衆衛生学	〃	30			30	
		動物繁殖学	〃			16	16	
		動物人間関係学	〃			38	38	
		動物行動学	〃	38	22		60	
		動物福祉論	〃			30	30	
		飼養管理学	〃	38	38		76	
		動物看護学	〃			16	16	
		臨床動物看護学	〃	90			90	
		動物入院管理	〃		38		38	
		幼齢動物・高齢動物管理	〃			38	38	
		動物臨床検査学	〃	30			30	
		救急救命対応	〃			16	16	
		クライアントエデュケーション	〃	30			30	
		院内コミュニケーション	〃	38	38		76	
		動物飼育実習Ⅰ	〃	114			114	
		動物飼育実習Ⅱ	〃		114		114	
		動物看護実習Ⅰ	〃	90			90	
		動物看護実習Ⅱ	〃	76	76		152	
		動物看護実習Ⅲ	〃			76	76	
		動物臨床検査学実習Ⅰ	〃	90			90	
		動物臨床検査学実習Ⅱ	〃		135		135	
外科動物看護実習Ⅰ	〃	45			45			

		外科動物看護実習Ⅱ	〃		45		45	
		総合臨床実習Ⅰ	〃		65		65	
		総合臨床実習Ⅱ	〃			70	70	
		ホリスティックケア	〃			76	76	
		グルーミング実習Ⅰ	〃	228			228	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		456		456	
		グルーミング実習Ⅲ	〃			456	456	
		試験対策	〃			54	54	
		しつけ総論	〃			76	76	
		品種学	〃			38	38	
計					1, 263	1, 315	1, 130	3, 708

ペットスペシャリスト学科

平成27年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数				備考
				第1 学年	第2 学年	第3 学年	計	
				時間数	時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程 ペットスペシャリスト学科	一般教育科目	就職実務	必須		38	38	76	
		パソコン実習	〃			76	76	
	専門教育科目	動物形態機能学	必須	76	76		152	
		動物病理学	〃		38		38	
		動物疾病看護学	〃	76	76		152	
		動物薬理学	〃	38			38	
		動物感染症学	〃	38	22		60	
		病原体・衛生管理	〃	30			30	
		動物健康管理	〃		16		16	
		動物栄養学	〃	38	38		76	
		動物医療関連法規	〃	30			30	
		公衆衛生学	〃	30			30	
		動物繁殖学	〃		16		16	
		動物人間関係学	〃			38	38	
		動物行動学	〃	38	22		60	
		動物福祉論	〃			30	30	
		飼養管理学	〃	38	22		60	
		動物看護学	〃		16		16	
		臨床動物看護学	〃	90			90	
		動物入院管理	〃		38		38	
		幼齢動物・高齢動物管理	〃		38		38	
		動物臨床検査学	〃	30			30	
		救急救命対応	〃			16	16	
		クライアントエデュケーション	〃	30			30	
		院内コミュニケーション	〃	38	38		76	
		動物飼育実習Ⅰ	〃	114			114	
		動物飼育実習Ⅱ	〃		114		114	
		動物看護実習Ⅰ	〃	90			90	
		動物看護実習Ⅱ	〃	76	76		152	
		動物臨床検査学実習Ⅰ	〃	90			90	
動物臨床検査学実習Ⅱ	〃		135		135			
外科動物看護実習Ⅰ	〃	45			45			
外科動物看護実習Ⅱ	〃		45		45			



		総合臨床実習Ⅰ	〃		65		65	
		総合臨床実習Ⅱ	〃			70	70	
		ホリスティックケア	〃			76	76	
		グルーミング実習Ⅰ	〃	228			228	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		456		456	
		グルーミング実習Ⅲ	〃			456	456	
		試験対策	〃			92	92	
		しつけ総論	〃	38			38	
		品種学	〃	38			38	
計				1,339	1,385	892	3,616	

ペットスペシャリスト学科

平成26年度入学生

課程学科 コース等の 名称	学科目名称	授業科目	必須 選択 の別	年次別授業時間数				備考
				第1 学年	第2 学年	第3 学年	計	
				時間数	時間数	時間数	時間数	
文化・教養専門課程 ペットスペシャリスト学科	一般教育科目	就職実務	必須		38	38	76	
		パソコン実習	〃			76	76	
	専門教育科目	動物形態機能学	必須	76	74		150	
		動物病理学	〃	38			38	
		動物疾病看護学	〃		76	74	150	
		動物薬理学	〃	38			38	
		動物感染症学	〃	38	22		60	
		病原体・衛生管理	〃		38		38	
		動物健康管理	〃	16			16	
		動物栄養学	〃	38	38		76	
		動物医療関連法規	〃	38			38	
		公衆衛生学	〃	38			38	
		動物繁殖学	〃	22			22	
		動物人間関係学	〃	38			38	
		動物行動学	〃	38	22		60	
		動物福祉論	〃	38			38	
		飼養管理学	〃		60		60	
		動物看護学	〃	38			38	
		臨床動物看護学	〃			90	90	
		動物入院管理	〃		30		30	
		幼齢動物・老齢動物管理	〃	38			38	
		動物臨床検査学	〃	38			38	
		救急救命対応	〃		15		15	
		クライアントエデュケーション	〃		38		38	
		院内コミュニケーション	〃		37	38	75	
		動物飼育実習Ⅰ	〃	114			114	
		動物飼育実習Ⅱ	〃		114		114	
		動物看護実習Ⅰ	〃	76	14		90	
		動物看護実習Ⅱ	〃		135		135	
		動物臨床検査学実習Ⅰ	〃	76	14		90	
動物臨床検査学実習Ⅱ	〃		76	76	152			
外科動物看護実習Ⅰ	〃		45		45			
外科動物看護実習Ⅱ	〃			45	45			

		総合臨床実習Ⅰ	〃		65		65	
		総合臨床実習Ⅱ	〃			70	70	
		グルーミング実習Ⅰ	〃	228			228	
		グルーミング実習Ⅱ	〃		456		456	
		グルーミング実習Ⅲ	〃			456	456	
		ホリスティックケア	〃			76	76	
		試験対策	〃			48	48	
計					1,064	1,407	1,087	3,558

平成28年度 クラス別時間割（4月時）

トリマー学科1年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	グルーミング理論Ⅰ	グルーミング実習Ⅰ	グルーミング実習Ⅰ	就職実務Ⅰ	動物看護学Ⅰ
2	グルーミング実習Ⅰ			ペットショップ学	しつけ概論
3				パソコン実習Ⅰ	
4				犬学Ⅰ	
5					
6				栄養学	
7					

トリマー学科2年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	就職実務Ⅱ	グルーミング理論Ⅱ	ハンドリング	グルーミング実習Ⅱ	グルーミング実習Ⅱ
2	犬学Ⅱ	グルーミング実習Ⅱ			
3					
4	ホリスティックア				
5					
6	動物看護学Ⅱ				
7					

飼育・しつけ学科 1 年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	校外飼育実習	しつけ概論 I	グルーミング実習 I	ドッグトレーニング 実習 I	ドッグトレーニング 実習 I
2		看護学 I			
3		犬学 I			
4		展示動物飼育学 I			
5					
6		ペットショップ学			

飼育・しつけ学科 2 年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1		ドッグトレーニング 実習 II	ドッグトレーニング 実習 II	グルーミング実習 II	しつけ概論 II	
2	ホリスティックケア				看護学 II	
3						品種学
4	展示動物飼育学 II					就職実務
5						
6	栄養学					

動物看護師学科 1 年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1		動物感染症学	動物健康管理	動物栄養学	外科動物看護実習 I
2		動物看護実習 II	病原体・衛生管理	パソコン実習 I	動物看護実習 I
3			動物看護学	動物関連法規	
4	動物行動学	公衆衛生学	品種学	動物臨床検査学	動物飼育実習 I
5	動物薬理学	飼養管理学	院内コミュニケーション	クライアント エデュケーション	
6	臨床動物看護学			院内コミュニケーション	動物臨床検査学 実習 I
7				動物形態機能学	
8					

動物看護師学科 2 年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	グルーミング実習	幼齢動物・老齢動物 管理	動物看護実習 II	動物入院管理	動物健康管理
2		ホリスティックケア		動物看護実習 II	飼養管理学
3					
4		救急救命対応	外科動物看護実習 II	動物形態機能学	動物人間関係学
5		動物行動学	動物臨床検査学 実習 II		動物福祉学
6		動物病理学		パソコン実習 II	
7	就職実務	院内コミュニケーション			
8					

ペットスペシャリスト学科1年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	動物飼育実習 I	動物感染症学	グルーミング実習 I	動物栄養学	外科動物看護実習 I
2		動物看護実習 II		病原体・衛生管理	動物疾病看護学
3				動物関連法規	
4	動物行動学	公衆衛生学		動物臨床検査学	動物形態機能学
5	動物薬理学	飼養管理学		クライアント エデュケーション	
6	臨床動物看護学			院内コミュニケーション	動物臨床検査学 実習 I
7					
8					

ペットスペシャリスト学科2年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	動物行動学	グルーミング実習 II	動物看護実習 II	動物入院管理	グルーミング実習 II
2	動物疾病看護学			飼育管理学	
3					
4	動物飼育実習 II		外科動物看護実習 II	動物形態機能学	
5			動物臨床検査学 実習 II	幼齢動物・老齢動物 管理	
6				院内コミュニケーション	
7	動物健康管理			動物病理学	
8	就職実務 II				

ペットスペシャリスト学科3年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	グルーミング実習Ⅲ		院内コミュニケーション	臨床動物看護学	グルーミング実習Ⅲ
2			ホリスティックケア		
3					
4		就職実務	試験対策	パソコン実習	
5		外科動物看護実習Ⅱ	動物疾病看護学		
6		動物臨床検査学			
7			実習Ⅱ		



### (3) 教職員

#### ①教職員数

校長	1名	岡田 徹
副校長	1名	山口 真利子
教務部長	1名	尾崎 正明

#### トリマー学科

専任教員 7名 (主な担当科目：グルーミング実習Ⅰ・Ⅱ、グルーミング理論Ⅰ・Ⅱ、ペットショップ学、犬学Ⅰ・Ⅱ、栄養学、動物看護学Ⅰ・Ⅱ、就職実務)

兼任教員 6名 (主な担当科目：グルーミング実習Ⅰ・Ⅱ、しつけ概論、ハンドリング、ホリスティックケア、パソコン実習Ⅰ)

#### 飼育・しつけ学科

専任教員 5名 (主な担当科目：しつけ概論Ⅰ、看護学Ⅰ・Ⅱ、犬学Ⅰ、ペットショップ学、ドッグトレーニング実習Ⅰ・Ⅱ、栄養学、品種学、就職実務)

兼任教員 7名 (主な担当科目：ドッグトレーニング実習Ⅰ・Ⅱ、グルーミング実習Ⅰ・Ⅱ、展示動物飼育学Ⅰ・Ⅱ、ホリスティックケア)

#### 動物看護師学科

専任教員 4名 (主な担当科目：動物行動学、動物薬理学、動物感染症学、動物看護実習Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学、飼養管理学、動物健康管理、動物繁殖学、病原体・衛生管理、動物看護学、品種学、院内コミュニケーション、動物感染症学、動物栄養学、動物関連法規、動物疾病看護、動物形態機能学、幼齢動物・老齢動物管理、動物病理学、動物入院管理、動物栄養学、動物人間関係学、動物福祉論)

兼任教員 9名 (主な担当科目：臨床動物看護学、救急救命対応、動物臨床検査学、クライアントエデュケーション、院内コミュニケーション、動物飼育実習Ⅰ・Ⅱ、外科動物看護実習Ⅰ・Ⅱ、動物看護実習Ⅰ・Ⅱ、動物臨床検査学実習Ⅰ・Ⅱ、グルーミング実習、ホリスティックケア、飼養管理学、パソコン実習Ⅰ・Ⅱ、試験対策)

#### ペットスペシャリスト学科

専任教員 6名 (主な担当科目：動物行動学、動物薬理学、動物感染症学、動物看護実習Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学、飼養管理学、動物健康管理、動物繁殖学、病原体・衛生管理、動物看護学、品種学、院内コミュニケーション、動物感染症学、動物栄養学、動物関連法規、動物疾病看護、動物形態機能学、幼齢動物・老齢動物管理、動物病理学、動物入院管理、動物栄養学、動物人間関係学、動物福祉論、動物飼育実習Ⅰ・Ⅱ、試験対策)

兼任教員 10名 (主な担当科目：臨床動物看護学、救急救命対応、動物臨床検査学、クライアントエデュケーション、院内コミュニケーション、動物飼育実習

I・II、外科動物看護実習 I・II、動物看護実習 I・II、動物臨床検査学実習 I・II、グルーミング実習 I・II・III、ホリスティックケア、飼養管理学、パソコン実習)

②教職員研修

- H27.6.17 トリミングセミナー「プードルの頭部アレンジ」
- H27.9.7 学生の就職活動支援のための教職員指導力アップ研修
- H28.2.28 栃木県動物愛護指導センター「高齢犬のケア」
- H28.3.15 動物看護師向けセミナー「猫の看護に必要な接し方」
- H28.6.26 動物看護師向けセミナー「動物看護職の形而下戦略」
- H28.7.5 全国ペット協会「猫の繁殖と疾病の予防管理」
- H28.7.26 トリミングセミナー「現場の主流の T・プードルのペットカット」
- H28.8.2～3 アクティブラーニング研修
- H28.8.26 カウンセリング研修「学生指導にカウンセリングマインドを活かす」

#### (4) キャリア教育・実践的職業教育

##### ●キャリア教育への取組状況

- ・栃木県動物愛護指導センターへ保護犬のお世話
- ・町内清掃の実施

##### ●実習・実技等の取組状況

###### <目的>

さまざまな体験・経験をから、将来ペット業界で活躍できる技術力・接客力等を磨く。

###### <実習・演習計画>

月	対象学科				実習・演習等の内容
	ト	飼	看	PS	
4月	○	○	○	○	栃木県ペットイベント「ワンダフルとちぎ」に参加
	○	○	○	○	インターナショナルドッグショー見学
	○				JKCトリミング競技会出場
6月		○			ディスクドッグ特別授業（ピーターブルーム来日）
		○			ディスクドッグアジア選考会見学
7月	○	○	○	○	ディスクドッグ大会開催
10月	○				JKCトリマー義務研修
2月	○			○	日本動物専門学校協会トリミング競技会出場
通年	○			○	トリミング講習会（年2回）
	○			○	一般家庭犬対象のトリミングサロン

※対象学科について

ト…トリマー、飼…飼育・しつけ、看…動物看護師、PS…ペットスペシャリスト

##### ●就職支援等への取組支援

###### ・授業「就職実務」

授業に組み込み、就職についての動機付けや履歴書記入方法や面接指導といった就職試験対策を実施。

###### ・就職模擬面接

就職活動が本格化する前に校内で就職模擬面接を実施。服装・立ち居振る舞い・言葉遣い等を指導。

###### ・就職指導室の設置

就職指導担当者を常駐し、就職活動相談や求人票や過去の試験状況などが閲覧できる就職指導室を設置。

###### ・外部講師を招聘し、就職研修の実施

就職専門の外部講師を招聘し、ペット業界に絞った就職活動について教授していただく。

- ・卒業前研修の実施

一泊二日でビジネスマナー、グループエンカウンターを行い、社会人としての心構え等身につけさせる。

- ・卒業生の就職の斡旋

再就職を希望する卒業生はキャリアサポートセンターがバックアップし、無料相談を受けることが出来る。

(5) 様々な教育活動・教育環境

学校行事

4月	入学式、オリエンテーション、消防訓練、健康診断 ドッグショー見学、ワンダフルとちぎ
5月	ペット業界就職合同説明会
6月	スポーツフェスティバル
7月	就職研修
8月	宮祭り・サマーフェスティバル
9月	前期期末試験
10月	学校祭
11月	卒業前研修・海外研修旅行
2月	後期期末試験・就職研修
3月	卒業式

学科行事

トリマー学科

7月	トリミング特別セミナー「プードルペットクリップ」
9月	クラス行事（1年：那須どうぶつ王国）
10月	クラス行事（1・2年：デザインカットコンテスト見学） JKCトリマー義務研修（2年）
11月	校内トリミング競技会、JKCハンドラー義務研修
2月	日本動物専門学校協会トリミングコンテスト、トリミング特別セミナー 「コッカー」

飼育・しつけ学科

5月	クラス行事（2年：那須どうぶつ王国）
6月	クラス行事（1年：那須どうぶつ王国）、ディスクドッグ特別授業（1・2年）、ディスクドッグアジア予選会见学（1年）
7月	ディスクドッグ大会参加（1・2年）

動物看護師学科

9月	動物愛護フェスティバル
11月	クラス行事（1・2年：大洗水族館）

ペットスペシャリスト学科

11月	クラス行事（3年：ミュージカル鑑賞）、クラス行事（1～3年：上野動物園）
-----	--------------------------------------

## (6) 学生の生活支援

### ●学生支援の組織

クラス担任制にて授業運営。個人面談、保護者面談等で学生の把握、指導を行っています。また、学習指導部、生活指導部、就職指導部を設け、月1回以上のペースで活動し、学校の質の向上、退学防止、就職率の向上に努めています。

### ●学生支援への取り組み状況

1. 進路・就職に関する支援体制について
  - ・就職指導部と担任によるサポート体制
  - ・インターンシップを実施
  - ・就職研修を実施（面接指導、就職の心構え、履歴書添削）
  - ・卒業前研修を実施（就職の心構え、礼法指導、グループ研修）
2. 学生相談に対する体制について
  - ・担任による面談を実施
  - ・夏休みに3者面談を実施
  - ・必要に応じて校長、副校長との面談
3. 学生に対する経済的な支援体制について
  - ・公的奨学金を利用可能
  - ・状況により学費の分納、延納を認める（条件あり）
4. 学生の健康管理について
  - ・毎年定期健康診断を実施
5. 保護者との適切な連携について
  - ・夏休み3者面談、学生状況により保護者面談を実施
6. アルバイトの斡旋について
  - ・アルバイト求人を公開
7. アパートの斡旋について
  - ・提携不動産業者によるアパートの斡旋
8. 卒業生への支援体制について
  - ・卒業後就職サポートあり
9. 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みについて
  - ・高校生職場体験の受け入れ
  - ・バス見学会の実施
  - ・民活支援

(7) 学生納付金・就学支援

①学生納付金の取り扱い

■入学金 全学科 100,000 円

※合格発表日の約1週間後までに金融機関から振り込みにて納入

■授業料・施設設備費（年額）

学校	学科・コース名	授業料	施設設備費	合計
国際ペット総合 専門学校	トリマー学科	600,000 円	400,000 円	1,000,000 円
	飼育・しつけ学科	600,000 円	400,000 円	1,000,000 円
	動物看護師学科	700,000 円	400,000 円	1,100,000 円
	ペットスペシャリスト学科	600,000 円	400,000 円	1,000,000 円

※納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合には3月末日までにお知らせください。

入学金を除いた学費については返還いたします。

※学費の納入は1年分一括納入が原則ですが、1年分を2分割にて納入することもできます。

※1回目学費3月20日まで、2回目学費8月20日までに納入（1年次、2年次、3年次）

■その他納入金

1. 補助活動費（年額）

学校名	補助活動費（概算）
国際ペット総合専門学校	337,000～367,000 円

●教科書代、教材費、行事費、実習費および学生共済等の諸経費

●個人により異なる検定等の費用については別途納入となります

2. 実習服、実習用具等の費用（初年度）

学校名	実習服、実習用具等の費用
国際ペット総合専門学校	96,000～155,000 円

●学科またはコースにより金額が異なります

3. 海外研修旅行積立金

●入学年次の5月から2年次の10月まで毎月17,000円を口座振替にて積立

●旅行先については設定のコースから選択していただきます

（平成27年度実績：シンガポールコース）

②活用できる経済的支援等の措置の内容

【修学資金等】

●日本学生支援機構

	申し込み資格	貸与月額
第一種奨学金 無利息	1. 大学、短期大学、専修学校専門課程に在籍 2. 高等学校及び専修学校高等課程の成績が3. 2以上 3. 経済的に就学が困難であること 4. 日本学生支援機構が定める収入基準額以下であること	自宅通学者 月額 30,000 円 53,000 円 自宅外通学者 月額 30,000 円 60,000 円 それぞれ選択
第二種奨学金 利息3%上限	1. 日本学生支援機構が定めた次の3つの学力基準のいずれかに該当すること 2. 経済的に就学が困難であること 3. 日本学生支援機構が定める収入基準額以下であること	月額 30,000 円、50,000 円 80,000 円、100,000 円 120,000 円から選択

※返済期間 卒業後6ヶ月経過後、9年～16年

●日本政策金融公庫

対 象	本校入学予定、または在学生の保護者で返済能力のある方 所得制限あり
融 資 額	学生1名につき3,500,000円以内
利 率	年率2.05% (H28.3.7現在)
返済期間	15年以内

※ホームページアドレス <http://www.jfc.go.jp>

●その他教育ローンも利用可能です。



(8) 学校の財務

貸借対照表

平成28年3月31日

学校法人ティビィシィ学院

(単位：円)

科 目	決 算 額
資 産 の 部	
固定資産	
有形固定資産	7,713,570,783
その他の固定資産	115,098,022
流動資産	2,707,678,692
資産の部合計	10,536,347,497
負 債 の 部	
固定負債	1,163,669,683
流動負債	1,563,916,909
負債の部合計	2,727,586,592
純 資 産 の 部	
株主資本	
資本金	510,000,000
繰越利益剰余金	7,298,760,905
純資産の部合計	7,808,760,905
負債および純資産の部合計	10,536,347,497

# 消費収支計算書

自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日

学校法人ティビィシィ学院

(単位：円)

科 目	決 算 額
収入の部	
学生納付金収入	2,612,380,277
施設利用収入	49,043,154
補助金収入	291,134,128
その他収入	232,003,740
特別利益	23,858,014
収入の部合計	3,208,419,313
支出の部	
人件費	940,461,786
教育研究費	797,231,469
管理経費	652,542,697
借入金利息	11,771,210
その他の経費	156,742,177
特別損失	24,026,869
支出の部合計	2,582,776,208
当期消費収支差額	625,643,105
前期繰越消費収支差額	6,673,117,800
翌期繰越消費収支差額	7,298,760,905

平成27年度  
自己評価結果公開資料

学校法人ティビィシィ学院  
国際ペット総合専門学校

2016年3月

## 1. 学校の教育目標

本校は、次の教育理念のもと教育の質の向上ならびに教育環境の充実に努めてまいりました。

### 1) スペシャリストの育成

現代社会、特に地元産業の求める人材の輩出を目的に、実社会の要請に合わせて、卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する

### 2) 自ら学ぶことを大切にする教育

教育効果を最大にするための基本は、学生の教職員に対する信頼関係の確立にある。そのために、教職員が模範を示し自ら学ぶことができる学生を育成する。

### 3) 豊かな人間性の形成

資格、技能を持つと同時に、社会的常識とマナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持って行動できる人材を育成する。

### 4) 国際人の育成

「国際」を校名に冠する学校の学生である自覚を持たせる教育により、国際社会に通用する人間性と感覚を育成する。

## 2. 本年度の重点的目標と取り組み

次の点に重きを置き学校を運営していく。

### 1) 教育内容の充実

- ・企業等と連携した経験的、体験的、実践的学習の展開
- ・専門力とともに人間力を高める教育の充実
- ・思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める教育の充実

### 2) 学生・保護者の満足度向上

- ・学生・保護者・学校の情報共有と連携
- ・三者面談（学生・保護者・教員）の有効活用
- ・多面的本校理解の推進

### 3) 高い就職率

- ・在り方生き方の就職指導の充実（自己理解と自己表現）
- ・「就職実務」の指導内容の充実と方法の改善
- ・就職につながる企業実習等の重視

### 4) 高い検定取得率

- ・取得検定の精選と高度化
- ・就職指導に関連づけた検定対策
- ・検定関係授業の充実と指導方法の改善

### 5) 安定した入学者数の確保

- ・魅力ある教育内容の充実と学校作り
- ・入学関係者のニーズに即した広報活動と対応

### 6) 退学者の防止

- ・学習、生活、就職活動等におけるきめ細かい学校支援
- ・あらゆる教育場面を通しての、学生理解と速やかな対応

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>学校理念・人材育成像等は、学生に対し「学生の手引き」や新入生オリエンテーションにて周知している。保護者への周知については、定期的実施している三者面談時に学生の学習状況や生活状況等の報告に加え、各学科の目標について話しをしている。</p> <p>また、各学科の教育目標や人材育成像に関しては、就職先・実習先企業等の業界関係者、本校の非常勤講師の意見を反映させ、カリキュラム等にも活かしている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>保護者への周知について、入学時期に合わせ、保護者向け説明会を設けることで、統一的に周知できないか検討していく。</p>		

(2) 学校運営

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>毎年度初めに事業計画を策定し運営している。また、運営組織についても有効に機能しており、規則等の整備もできている。</p> <p>教育活動等の情報公開については、ホームページでリアルタイムに情報発信する他、チラシ等を作成し関係者に配布し公表している。</p> <p>業務の効率化について、校内ネットワークを完備し情報の一元化や共有化等に対応している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>		

### (3) 教育活動

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4
5	関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>教育目的に沿って教育課程を体系的に編成している。カリキュラムについては、学習指導部を結成し、関連分野の企業等の意見を取り入れながら、多人数で多方面から検証している。動物看護師、ペットスペシャリスト学科については、協会指定のコアカリキュラムを遵守している。また、全学科で全教科シラバスを作成し学生に配布している。</p> <p>授業評価については、全学生対象に全教科の授業評価アンケートを実施し、結果を教科担当に伝え、授業運営の参考・改善に活用している。また、教員の資質向上を目的に、専門分野や指導力を強化する教員研修を計画的に実施している。</p> <p>企業等との連携による実習・演習については全学科で実施し、実践力の習得に役立てている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>教育課程編成委員会を開催し、関係業界や企業の方々の意見を授業運営に反映していく。</p>		

#### (4) 学修成果

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>各学科少人数制・担任制を設けることで、きめ細かい指導を心掛け実践している。また、就職・学習・生活の3つの指導部を設け、定期的に委員会を開催し、意思の疎通を図っている。就職については、全国ペット協会主催合同就職説明会に参加することで、大手企業への就職の足掛かりとしている。資格取得率に関しては高い水準を維持し、トリマー学科については、全国トリミング競技会に参加し、優秀な成績を収めることができた。退学率については昨年度より良化している。その要因の一つとしてTBC学院全体で退学防止委員会を定期的に開催し、各校での退学例を挙げ、退学までの経緯を分析し、防止策を検討している。</p> <p>キャリア形成への効果を把握するにあたり、できるかぎり卒業生の就職先へ訪問し状況確認をしている。しかし遠方等の理由で一部訪問ができていない企業もある。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>生活指導部を中心に退学防止策を模索している状況であるが、具体的な対応策には至っていない。今後も継続的に委員会を開催し検討していく。</p> <p>卒業生の評価については、就職先への訪問はできる限り継続実施していくが、訪問が難しい企業に関しては、郵送にてアンケート形式で確認を行っていく。</p>		



(5) 学生支援

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>全学科担任制をとっており、学生支援については基本的に担任が対応にあたる。その他学生をあらゆる方面から支援するため、それぞれの支援分野に分け、学習指導部・生活指導部・就職指導部が組織的に対応している。</p> <p>学生への経済的支援として、学生の実情に応じ奨学生制度や学費分割制度など取り入れ、学生の経済的負担の軽減をおこなっている。</p> <p>健康管理として常備薬を用意し、体調不良者を休ませる保健室を完備している。対応は基本的に担任および教科担当者が行っている。</p> <p>卒業生への支援として、就職面では転職に関する相談や斡旋を行っている。また、資格・検定取得や技術向上のための勉強会や講習会等の開催を告知し、参加希望者の受け入れを行っている。</p> <p>高校に対し、出張による模擬授業や面接指導等を実施している。また、高校生のインターンシップ生の受け入れを行っている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>卒業生への支援として再就職の相談・斡旋の他、イベントや研修・講習を実施の際に卒業生へ周知し、参加の呼びかけをしていく。</p> <p>メンタル面のケアを担当する専任者を置くことも前向きに検討していく必要がある。</p>		

## (6) 教育環境

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>教育や学校生活に必要な施設・設備は十分に整備されている。さらに保守管理についても適宜速やかに対応している。</p> <p>防災については、避難マニュアルを作成し、4月に全校生で避難訓練を実施している。</p>  <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし</p>		

(7) 学生の受入れ募集

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>学生募集については設置学科・コースや募集要項、パンフレットなど学習内容や広告媒体の詳細なところまで会議を開いて決定している。また、オープンキャンパスや会場ガイダンス、高校への訪問においては、就職や資格取得、授業内容など実績を正確に伝えている。</p> <p>学納金は、教育内容に沿った設備や人件費、諸経費等を考慮し算出している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>		

(8) 財務

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>財務については、設立から収入超過のため大きな問題はない。また、予算については在籍数から収入が算出されるため、学校の規模にそぐわない大きな投資をすることもなく健全に計画されている。財務情報はホームページにて公開している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>		

(9) 法令等の遵守

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	1
<p>(評価の根拠)</p> <p>法令や専修学校設置基準等の改正等に沿って学校運営している。また個人情報についても細心の注意を払っている。</p> <p>自己評価については、組織化して実施してきた。また、その中で出た問題点については改善に向けて対応している。結果の公開は平成27年度分よりホームページ上で実施していく。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>		

## (10) 社会貢献・地域貢献

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1
<p>(評価の根拠)</p> <p>学校祭では地域住民の方をはじめ、一般の方や関係企業の方を招いて学校を開放し実施している。また一般の飼い主様を対象としたトリミングサロンを実施している。</p> <p>高校生や中学生を対象とした職場体験や研究授業等を依頼があれば積極的に受け入れている。</p> <p>学生のボランティアに関しては、学校近隣の清掃活動をはじめ、栃木県動物愛護指導センターの保護された犬猫のお世話、ペットイベントの運営スタッフなど多岐にわたりボランティア活動を奨励している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>地域に対する公開講座・訓練講座について、依頼があれば、実施を検討していく。</p>		

## 学校関係者評価結果公開資料

開催日時：平成28年9月1日(木) 15:15～17:30

1. 開催場所：国際ペット総合専門学校 10階01教室

2. 出席者：学校関係者評価委員 8名

事務局(学校) 11名

### 学校関係者評価委員会の委員名簿

氏名	所属(役職)	種別(担当学科)
松山 秀博	一般社団法人全国ペット協会 (常務理事)	企業等委員
前田 直樹	Dog Salon M・Style (オーナー)	企業等委員 (トリマー)
藤田 泰昌	ペトリゾートカレッジ株式会社 (支配人)	企業等委員 (飼育・しつけ)
菱川 則夫	泉が丘動物病院 (院長)	企業等委員 (動物看護師)
亀井 眞起	GEN's DOG (オーナー)	企業等委員 (ペットスペシャリスト)
清水 邦一	清水動物病院 (院長)	企業等委員 (ペットスペシャリスト)
野澤 裕子	保護者代表	P T A
松本 久実	卒業生代表	卒業生

### 3. 委員会次第

#### (1) 開会

- ・委員委嘱
- ・学校長挨拶

#### (2) 協議

- ・学校概要説明
- ・平成27年度学校(自己)評価報告
- ・協議

#### (3) 閉会

- ・謝辞(学校長)
- ・事務連絡

#### 4. 指摘事項・意見等

委員の方全員に対し学校関係者評価委員会の目的や規定について説明し、改めてご理解をいただいた。また、平成27年度自己点検結果について項目ごとに評価の根拠と改善内容を報告し、各委員の方からご指摘・ご意見等を頂いた。

各委員の方からのご指摘・ご意見は次の通り。

##### (1) 教育理念・目標

###### ○ 企業委員

非常勤講師等の意見を取り入れているとのことであるが、何名の講師からどのような話を聞いているのか。

企業が求める人材・資質として、臨機応変さがあると思う。すべての学生にその力をつけることは難しいと思うが、ペット業界にあっては特に強く求められものである。

また、現場にあっては、忍耐力や体力も求められる。加えて職務に対する責任感そして命(いのち)に対する責任の重さ大きさを感ずることができる人材が望まれる。

###### ○ 保護者委員

入学前に保護者向けの学校説明会(理念・目標・方針・規程等について)があれば、参加したかった。オープンキャンパス等で学校概要の話は聞いたが、入学後さらに詳細な話しが聞ける保護者向けの説明会があれば参加する保護者は多いのではなかろうか。

###### ○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

##### < 学校の今後の対応 >

非常勤講師の数は20名程度おり、ほとんどが企業等で活躍する現職の教員である。様々な機会を通して、業界の動向や現場のニーズを聞き、それらを可能な限り教育方針やカリキュラム等に反映するようにしている。しかし、まだまだ不十分である。今年度より教育課程編成委員会を設置し、広く企業等と連携し教育課程の編成に資する考えである。

教育理念や目標等については、学生の手引きの他、学校ホームページにも掲載しているが周知が不十分であった。周知の徹底を図りたい。また、入学式後保護者向け学校説明会等の開催も検討していきたい。

##### (2) 学校運営

###### ○ 各委員

学校の教育活動が、ネット上公開されていることを知らなかった。多くの関係者に知らせるべきであろうと考える。また、ネットだけではなく、校内掲示板などを設け、学生同士の横のつながりも大切にするやり方等もあるのではないかと思う。

###### ○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

##### < 学校の今後の対応 >

今後ともホームページ等で学校運営状況をリアルタイムで情報発信をするとともに、その内容の充実を図りたい。また、あらゆる機会を通し、情報公開していることを広く伝えたい。さらに、学生、保護者、卒業生も含め学校の情報共有が図られたならと考えている。



### (3) 教育活動

#### ○ 企業委員

学校が企業と連携した実習・演習を行うのであれば、それがインターンシップに繋がり、採用に結びつく仕組み作りが必要ではないか。企業としても人材を早く確保出来るメリットがある。

実践的な職業教育として、「あいさつ」「身だしなみ」「立ち振る舞い」「私語を控える」等の職業人としての基礎基本をしっかり身に付けさせる指導を行うべきである。たとえインターンシップであっても、一般客からは“従業員”として見られるのだから。

#### ○ (学校から) 全国ペット協会に加入する企業のインターンシップ受け入れ先リスト一覧のようなものは作成可能だろうか。

(協会より) 難しさはあるが検討してみたい。

#### ○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

#### < 学校の今後の対応 >

あらゆる機会を捉え、学生の実務・実践教育の強化を図るべきと考える。スキルだけでなくマインド、センスをしっかり身に付けさせて行きたい。経験的体験的学習をこれまで以上に重視したい。

全国ペット協会等の支援のもと、産学連携によるインターンシップを実施、さらにそれが就職に結びつくようなものになるよう学校としても努力していきたい。

### (4) 学修成果

#### ○ 事務局 (学校)

就職率は 90%以上であり高い。問題は、その離職率の高さである。2 から 3 年で辞める学生が残念ながらいる。

#### ○ 企業委員

ペット業界従業員の多くが女性であり、勤務時間や仕事内容だけでなく結婚や出産なども離職率が高くなる理由のひとつではないか。

卒業生が、就職後どうしているのかフォロー調査してみるのはいかがでしょうか。卒業生の職場での現状を知り、今後の就職指導の参考にすることは大切なことであると考えます。

採用にあたって、可能な限り複数採用している。職場に同期がいることで悩みや心配を共有でき離職率が下がることもある。一方で同時に辞める場合もあるが。

#### ○ 卒業生委員

就職後、先輩から「新入社員が久しぶりであり、どうすればいいのかわからない」と言われた。やはり、同期の存在は必要だと思った。

#### ○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

#### < 学校の今後の対応 >

学校として企業に採用される人材の育成に力を入れるとともに、卒業生の現状を知るためアンケート調査を実施することを検討してみたい。

### (5) 学生支援

#### ○ 卒業生委員

卒業生への再就職支援体制があることを知らなかった。

- 企業委員  
学校として学生の健康診断は実施しているか。
- 保護者委員  
養護教員(メンタルケア担当教員)がいないということであるが、授業担当または担任に任せているということで、特に問題を感じない
- 企業委員 (協会)  
家庭動物管理士の資格取得者への講習会は何回か実施しており、学生も含め開催通知を送信している。
- その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

< 学校の今後の対応 >

学生の健康診断は毎年実施し、その結果を記録し保管し活用している。  
緊急時には連携病院があり協力関係にある。  
再就職支援の他、イベントや研修・講習等をどのように卒業生等に公開していくか検討したい。

(6) 教育環境

- 企業委員  
防災については、学校だけでなく地域との連携が必要であり、学校周辺の避難場所も確認しておくべきではないか。
- その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等はなし。

< 学校の今後の対応 >

防災も含め教育環境の面からも地域との連携は大切であり、今後とも近隣の自治会等と連絡を取り合い良好な関係を維持していきたい。

(7) 学生の受け入れ募集

- 保護者委員  
オープンキャンパスで、学校の概要が十分理解できた。子供が本校に決めたのはオープンキャンパス (体験入学) の結果によるものである。
- 卒業生委員  
オープンキャンパスの実施回数が多くて大変良かった。何回も参加することで、入学前に友人ができ、緊張することなくスムーズに学校やクラスに入っていくことができた。
- その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

< 学校の今後の対応 >

入学生や保護者の意見を取り入れ、今後ともオープンキャンパスの内容をより良いものにしていきたい。

(8) 財務

- 企業委員  
情報公開されているということなので、今後見させていただきたい。
- その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

< 学校の今後の対応 >

特になし

(9) 法令等の遵守

○ 企業委員

自己評価結果の公開について、1となっているがどうか。

○ (学校から) H27年度分の自己評価の結果公開については、今年度これから実施のため昨年度分の評価は1とさせていただいた。

○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等なし。

< 学校の今後の対応 >

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

○ 企業委員

地域に対する公開講座・教育訓練等について評価が1となっているがなぜか。

災害時の社会貢献、地域貢献は考えられないか。

○ その他については、評価内容をご理解いただき、ご指摘ご意見等はなし。

< 学校の今後の対応 >

本校は施設を活用しトリミングサロンやボランティアとして近隣の清掃活動、栃木県動物愛護センターの保護犬猫のお世話などしているが、地域に対する公開講座・訓練講座等については消極的であった。今後は可能なところから前向きに実施していきたいと考えている。

なお、栃木県獣医師会から災害時のペット等のシェルター支援協力の要請があった。これも前向きに検討していきたいと考えている。

栃木県獣医師会は、本校と実習先や就職先などで関係する団体であり、今後とも連携して社会貢献・地域貢献をしていきたいと考えている。

## (10) 国際連携の状況

### 留学生入学規定（募集要項）

#### <出願資格>

- ①外国において通常の課程による12年間以上の学校教育を終了した方
- ②日本語教育施設（日本語教育振興協会による認定校）で6ヵ月以上の日本語教育を受けた方
- ③日本語の基礎的な能力（日本語能力試験2級、または3級程度）を習得している方
- ④毎日登校し、まじめに学習する方、また日本の法律及び本校の学則を守れる方

#### <出願書類>

（当学院日本語学科卒業生）

- ①入学願書（当校所定のもの）
- ②誓約書

（当学院日本語学科卒業生以外の方）

- ① 入学願書（当校所定のもの写真貼付、裏面も記入、捺印）  
※写真裏に希望学科と氏名を記入すること
- ② 個人票（写真貼付 ※写真裏に希望学科と氏名を記入すること）
- ③ 受験票封筒 ※宛名・住所記入、切手 82 円分を貼る
- ④ 合否結果封筒 ※宛名・住所記入、切手 402 円分を貼る
- ⑤ 最終出身学校の卒業証明書、及び成績証明書（その他学歴が証明できる書類でも可）
- ⑥ 日本語教育施設の卒業証明書または卒業見込み証明書（コピー不可）
- ⑦ 日本語教育施設の出席証明書及び成績証明書（コピー不可）
- ⑧ 日本語能力試験合格者は認定書のコピー
- ⑨ パスポート及び外国人登録証（コピー後即返却）
- ⑩ 誓約書
- ⑪ 入学願書副申書

#### <入学方法>

- 願書受付期間 平成28年10月1日（土）～平成29年3月31日（金）
- 選考日 入学願書提出後、随時選考を行います。日程等にご相談ください。
- 選考方法
  - ① 書類審査
  - ② 面接
  - ③日本語能力テスト 60分
    - ・筆記 45分（文章・語彙・読解・文法）
    - ・ヒアリング 15分
  - ④作文試験 10分
- 選考料 20,000円（ただし、学校長による推薦の場合は無料）

<入学金・学費・補助活動費>

- 入 学 金 全コース 100,000円  
\*TBC 学院日本語学科卒業生は免除となります。
- 学 費 学費は授業料年額（60万～70万円）と施設設備費を合わせたものです。  
※留学生（留学 VISA の方）は授業料の半額（30～35万円）が給付となります。  
期日までに一括納入ができない場合は、給付の対象外となります。
- 補 助 活 動 費 教科書、教材費、諸費用のことです。昨年実績をもとに1年分を概算で仮払いしていただき、平成29年5月31日（水）までに精算します。

国際ペット総合専門学校 納入金額内訳 （1年次分）

学科	学費 (一般)	学費 (留学生)	補助活動費	実習道具等	納入金額
					(留学生)
トリマー (2年制)	¥1,000,000	¥700,000	¥380,000	¥170,000	¥1,250,000
飼育・しつけ (2年制)	¥1,000,000	¥700,000	¥350,000	¥120,000	¥1,170,000
動物看護師 (2年制)	¥1,100,000	¥800,000	¥360,000	¥110,000	¥1,270,000
ペットスペシャリスト (3年制)	¥1,000,000	¥700,000	¥370,000	¥170,000	¥1,240,000

<納入期限>

- 入 学 金 合格書類で指定した期日（選考日の約1ヶ月後）までに、本校受付窓口までご持参ください。
- 学費・補助活動費 平成29年3月10日（金）までに、本校受付窓口までご持参ください。

<注意事項>

- 本校以外の学校を併願し入学が決定した場合は、併願先の合格通知をコピーし、本校までご持参またはご郵送ください。
- 入学試験に合格し、入学金・学費・補助活動費を納入した後に入学許可書を発行します。  
(ただし、発行は平成29年3月1日以降となります。)
- 一度納入された学費は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- 書類に偽りがあった場合は除籍となります。
- 進級次に VISA を申請する際、手続きに必要な学校の書類の発行は、次年度分学費のお支払いが完了してからになります。